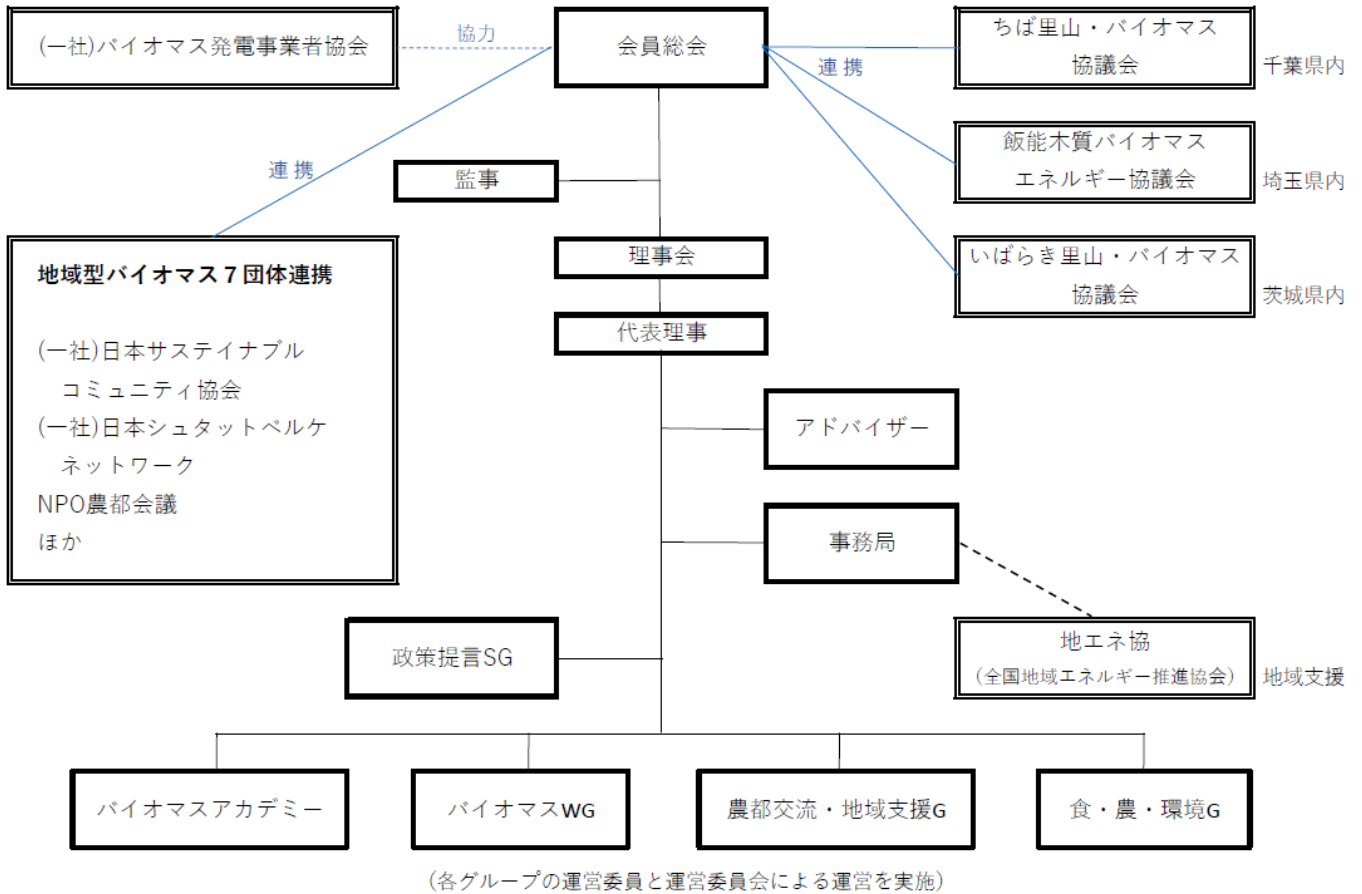


特定非営利活動法人 農都会議

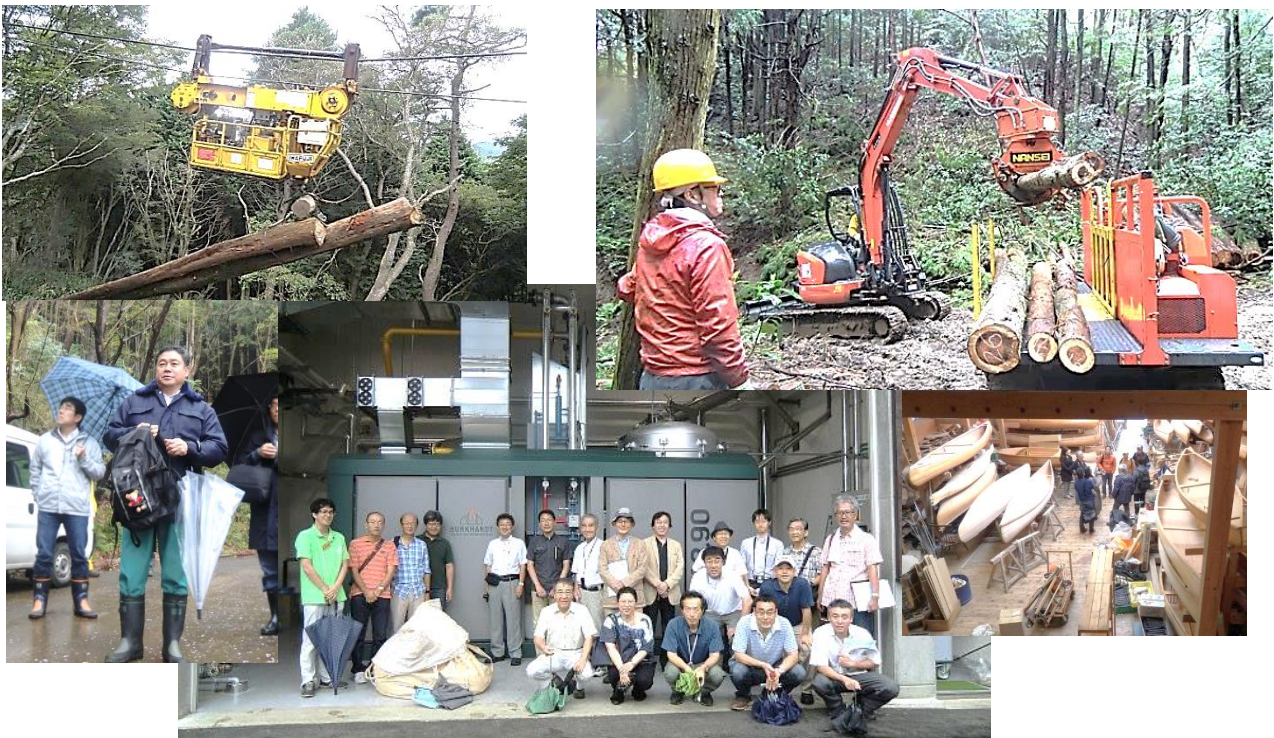
Establishment January 29, 2010

NPO法人農都会議 組織図 (2020年4月)



フィールドワーク

農都会議は、地域の方々と話し合っ現場の課題を確認するため、年間複数回のフィールドワークを行っております。



勉強会

農都会議は、市民・企業・地域の課題について検討するため、現場の方々や専門家をお招きし、月毎に勉強会を行っております。



政策提言

農都会議は、2010年1月の設立以来（NPO法人への組織変更は2016年4月）、市民・企業・地域の現場の課題を提言に取りまとめ、関係機関へ提出してきました。バイオマスWGは、2013年4月の設置以来、5度の提言を取りまとめ、提出しました。

2017年4月に、再エネ、森林・林業関係の8項目の提言を取りまとめました。

【再生可能エネルギー関係】

- (1) アジアと連携したバイオマス発電事業の展開
- (2) 市民出資型バイオマス熱利用・熱電併給の需要先マッチング支援・モデル提示
- (3) 集落エネルギーセンターの創設
- (4) ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の普及促進政策の実現
- (5) 再生可能エネルギーで国内を完全自給できる戦略的政策の確立

【森林・林業関係】

- (6) 全都道県での森林環境税の普及と国による森林環境税の創設に関して
- (7) 未利用材の伐採・搬出の促進
- (8) 高性能自動枝打ちロボット開発

その他、参考意見として、三富新田の高樹齢化した平地林の伐採事業支援、外国人技能実習制度の林業分野への適用、鳥獣被害へ生態系を活用した新たな対策の検討、「家族記念林」制度の創設、「熱利用100年計画」の策定と推進などをまとめました。

●NPO 法人農都会議のミッションとめざす方向

農都会議は、市民協働・地域協働を基本理念として、市民・企業・地域の現場から提言を行っている団体です。勉強会やフィールドワーク等を通じて課題を提言に取りまとめ、その実現をフォローしていきます。また、自立して活動を続けられる事業型 NPO として、地球環境保全と持続可能な循環型社会の実現をめざします。

現在、下記の3グループがあり、政策作りを学ぶ政策提言 SG（スタディグループ）も活動を始めています。

●バイオマス WG（ワーキンググループ）とは？

WG は、再生可能エネルギー推進の加速、バイオマスエネルギーの事業化支援をテーマに、2013年4月から活動を続けています。

●農都交流・地域支援 G とは？

地域支援 G は、農山漁村と都市の交流を通じて、再エネによる地域エネルギーの自立・自給や、地域資源を活用した事業化の支援を行っています。Technical Intern PT、Natural Burial PT などにより、新たな分野の事業化も進めます。

●食・農・環境 G とは？

食農 G は、農林水産業に係る食・農・環境に関連する課題へ対応しようと、2014年より継続して、農薬、有機農業、遺伝子組換えなどの問題に取り組んでいます。

●お問い合わせ、ご連絡は、事務局までお願いします。

NPO 法人 農都会議

〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15

担当：杉浦英世 携帯：080-5485-1440

E-mail：noutokaigi@gmail.com

<http://blog.canpan.info/bioenergy/>

<http://blog.canpan.info/noutochiiki/>